

都市農地に関する情報交換会及び「農」の機能発揮支援アドバイザー派遣事業説明会 開催報告

2022(令和4)年7月13日(水)、当センターでは今年度も「農」の機能発揮支援アドバイザー派遣事業をスタートするのに合わせ、都市農業・都市農地に携わる自治体担当者や農業関係者、専門家等の皆さんを対象とした都市農地に関する情報交換会および令和4年度「農」の機能発揮支援アドバイザー派遣事業についての説明会を開催しました。

今年度もコロナウィルス感染症対策を考慮し、会場での実開催(会場はソーシャルディスタンスを確保するため、人数を制限)に加え、ZOOM・ウェビナーによるオンライン配信を行いました。

○会場+オンラインで130名超が参加

当日は、会場に直接お越しいただいた参加者10数名のほか、オンラインには100アカウント以上の視聴者があり、来場・オンラインあわせて130名以上の方にご参加いただきました。

○国からの情報提供(農林水産省、国土交通省)

最近の都市農業・農地に関わるテーマを中心に、農林水産省・国土交通省の担当官から情報提供をいただき、それらに対する質疑応答・情報交換などが活発に行われました。農林水産省からは、都市農地の貸借円滑化法等の解説とその活用事例、市民農園に関する取組みについてご説明いただきました。国土交通省からは、都市農地関連制度の現状等の解説、特定生産緑地の指定状況、全国の都市農地の取組み状況等についてご説明いただきました。

○自治体等による事例紹介(一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会)

都市農地貸借円滑化法を活用した事例として、一般社団法人小金井市観光まちおこし協会より、2022年3月に開設された「わくわく都民農園小金井」について紹介いただきました。この農園は、4者が協定を締結して事業展開しており(東京都(事業公募・ハード整備)、観光まちおこし協会(事業運営)、小金井市(手続調整等)、生産緑地所有者(事業用地提供))、貸借法も市民農園開設型と自ら耕作型(事業計画認定)の2種類とも活用するという特徴があることや、5種類の農園(シニア、福祉、地域、こども、共菜)や、付属施設である販売所・喫茶等、農園を通したにぎわいづくりについてお話しいただきました。

○アドバイザー派遣事業の紹介

「農」の機能発揮アドバイザー派遣事業(農林水産省「都市農業機能発揮対策」交付金を得て実施)の説明では、アドバイザー派遣の活用イメージをわかりやすく理解していただくため、様々な派遣のタイプをイメージしていただけるよう、新たにイラストを追加した事業案内リーフレット、YouTubeによる事業説明動画を紹介させていただきました。

また、コロナ禍の状況を踏まえ、今年度もオンラインによるアドバイザー派遣、オンライン実施のために必要な機器や人的支援も行っていくこととお知らせさせていただきました。

なお今年度より、本アドバイザー派遣事業の一環として、アドバイザーとして活躍している専門家のほか、事業を活用している団体等の活動を紹介する「都市農業・都市農地プラットフォーム」を当センターのホームページに開設した旨、ご案内させていただきました。

(→「都市農業・都市農地プラットフォーム」<http://www.tosinouti.or.jp/living/platform.html>)

さらに、当センター登録アドバイザー3名より専門分野(有機農業(土づくり)、農福連携、農山加工等)での取組やアドバイザー派遣の事例をご紹介いただきました。

<国・自治体等>



農林水産省 今川課長補佐



国土交通省 酒井課長補佐



小金井市観光まちおこし協会
千葉事務局長

<アドバイザー>



(株)菌ちゃんふぁーむ 吉田俊道氏



認定 NPO UNE 家老洋氏



農産加工・直売活動相談所 本橋修二氏

<都市農地活用支援センター>



左から佐藤、小谷、緩鹿



左:会場の様子



右:農の機能発揮支援アドバイザー派遣事業 リーフレット [ダウンロードはこちら](#)

おわりに

当センターでは、今回参加された皆様のご意見・ご感想も踏まえ、今後も講演会やゼミナールの開催等を通じ、各地の取組みに資する情報提供等を行ってまいります。どうぞご期待ください。